



ミス日本とは

ミス日本コンテストは、**日本らしい美しさ**を備えた女性を育成・輩出し、より良い社会を築くことを目指しています。

1950年に第1回が開催され、日本で最も歴史あるコンテストです。審査では外見はもちろん、**教養などの内面や、将来の目標への努力・行動を重視**しております。そのため、出場者には日本の歴史や道徳、お能やお茶、浮世絵など30講座にも及ぶ勉強会が提供されており、**育成の性格を持ったコンテスト**です。

これまで芸術、学問、ビジネス、政治、アナウンサーや女優、モデルなど様々な分野で活躍する女性を多数輩出しており、受賞者たちの将来に期待がかかります。

2026ミス日本みどりの大使



未来に繋がる豊かな緑を守り育ててきた取り組みや、生活に根ざした日本の木の文化の大切さと素晴らしさを伝え、みどりと木への親しみを広める役割を担います。

※2015年より創設



永田 愛実 NAGATA Manami

海と山に囲まれた長崎県長崎市出身で、山登りや海遊びに親しんできました。幼い頃から親しんでいた長崎を象徴する山王神社では、戦争を乗り越えた「被爆クスノキ」が枯死寸前の状況から力強く復活しています。平和教育を経て被爆クスノキの姿を改めて捉え直し、みどりの力強さと不屈の生命力を実感したと話しています。

現在は表現者として芸能の道を志しており、これまでミュージカルやモデル、役者としての経験を重ねています。高校時代には長崎県の高校野球イメージガールに就任しました。単にお飾りではなく、足繁く球場へ通い、球児の想いや努力を聞き出し、生放送の番組内で現場の声を伝える役割を担いました。この時の経験から「伝える」表現の奥深さに気が付きました。現場に足を運び、人と真摯に向き合い、五感で感じたことを自らも表現できるような表現者を目指しています。

映画鑑賞は年間100本近くも視聴。中でも最も好きな映画は「タイタニック」であり、単なる恋愛映画ではなく、登場人物たちが自分の人生を選択する尊い姿を、人生の教訓として捉えています。

将来はタレント、映画など表現を通じて人の心を動かせる俳優を目指しており、みどりの大使就任を機に、森を舞台に、多くの現場で働く人々と真摯に向き合い、彼らの知恵や技、想いを「伝える」役割に全力投球していきます。



生年月日	2005年 6月21日生まれ
出身地	長崎県長崎市
職業	日本大学法学部 経営法学科2年
サイズ	T 171 Shoes 24.5
特技	ピアノ
趣味	ギター/映画鑑賞
将来の希望	声を通して人と人との心を繋ぐ伝え手
座右の銘	感謝の心で、言葉に温もりを